

日本学術会議 公開シンポジウム 気候変動適応に関する農業分野（民間）の 取り組み

日時：2019年**10月30日（水）13:00～18:00**(12:30受付開始)

会場：**北海道大学農学部4階大講堂**(札幌市北区北9条西9丁目)

開催趣旨

気候変動適応策の開発は、社会・科学の中の問題でも最も重要な課題の一つである。国連が定める持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けた取り組みにおいても推進され、日本学術会議でも気候変動やSDGsに関しても多くの関連した提言を行っている。さらに、我が国では「気候変動適応法」が平成30年に公布され、国、地方公共団体、事業者、国民が連携・協力して適応策を推進するための枠組みが整備された。農業は改めて言うまでもなく、気候変動の影響を最も受けやすい産業であり、その適応策については、これまで公的な研究機関からの成果や行政からの情報発信が多くなされている。一方、民間分野などでも活発な動きもみられるが、これらの実態を深く知る機会は多くない。本シンポジウムでは、気候変動適応に関して、農業分野の民間分野の先進的事例の動向を概観し、産官学連携に向けた研究・技術開発の方向性について議論する。

プログラム

13:00 開会挨拶 仁科弘重(日本学術会議第二部会員、愛媛大学理事・副学長)

13:05 挨拶 西邑隆徳(北海道大学農学研究院長)

13:10 趣旨説明 広田知良(日本学術会議連携会員、農研機構北海道農業研究センターグループ長)

講演:13:25-16:30

前半司会:平野高司(日本学術会議連携会員、北海道大学農学研究院教授)

13:25 温暖化適応ビジネスとは(概観と農業分野への期待と展望)
新美陽大(株式会社日本総合研究所創発戦略センタースペシャリスト)

13:55 気象変動に負けない農業確立プロジェクトの取り組み
畠山重文(きたみらい農業協同組合調査役)

14:25 気候変動への対応:近年の異常気象に対するカルビーポテトの取り組み
植村弘之(カルビーポテト株式会社取締役常務執行役員)

14:55 休憩

後半司会:吉本真由美(日本学術会議連携会員、農研機構農業環境変動研究センター主席研究員)

15:10 気候変動による北海道のワイン産地の確立と日本ワイン発展への取り組み
齋藤浩司(北海道ワイン株式会社取締役営農部長 鶴沼ワイナリー農場長)

15:40 宇宙利用と中長期気象予測に向けたIHIの取り組み
大貝高士(株式会社IHI宇宙開発事業推進部事業企画Gr主幹)

16:10 気候変化・変動予測を活用した農業適応およびコメント
山形俊男(日本学術会議連携会員、海洋研究開発機構アプリケーションラボ特任上席研究員)

16:40 休憩

16:50 総合討論—議論と産官学連携に向けて—(座長 広田知良)

17:50 閉会挨拶 真木太一(日本学術会議連携会員、九州大学名誉教授、北海道大学農学研究院研究員)

主催：日本学術会議農学委員会農業生産環境工学分科会、環境学委員会環境科学分科会

後援：北海道大学農学研究院、日本農業気象学会、日本農業工学会、日本生物環境工学会、
日本農学アカデミー（順不同・一部予定）

参加費：無料(事前申込不要)

連絡先：広田知良(hirota@affrc.go.jp)